

ありがとう30周年、21世紀を拓け、22期の風

平成12年4月22日(土)：於 県ヶ丘高校体育館

第一部：卒業生4人による記念講演

■講師 岡田明義 中村和子
飯田善規 降旗真寿幸
母校に対する熱い想いと、現在の自分を大いに語る



第二部：担任の先生による「模擬授業」



時間割	第一教室	第二教室	第三教室
13:00	齋藤先生 J	猪瀬先生 B	山田先生 D
13:30	波多腰先生 E	林先生 H	渡辺先生 A
14:00	岩下先生 G	山田先生 D	中山先生 F



祝賀会 燦祥館



平成12年4月22日、無事「母校愛のリレー」が終了しました。
昭和45年に卒業して以来30年…顔のシワが増えた、髪の毛の薄くなった友の顔は、我々にとっては、昔の・当時のままでした。
一期生の先輩から引き継がれているこの事業、義務感でスタートしたこの事業、事業が全て完了し、2次会での友の顔は懐かしさに満ち溢れ、中心になって手弁当で動いた役員は満足感・達成感に満ち溢れていました。
素直に「やって良かった!頑張ってた!友と会えてよかった!県陵って最高!」と全員が実感したと、全員が肌で、心で感じた、素敵な笑顔は語っていました。
22期卒業生449名。友の善意は、気持ちは、351万円の寄付金額で表現されました。そして、「自分の原点は県陵がある」ということを基本テーマに、母校県陵に対する熱い思いと、現在の自分を大いに語ることで表現されました。
そして、お世話になった先生から受ける「模擬授業」の真剣なまなざしで表現されました。
そして、祝賀会での熱い語らいで表現されました。
そして、2次会でのわけのわからない盛り上がりで終了しました。
義務感で始まったこの事業、先輩がやっているから我々もと気楽な気持ちでスタートしたこの事業、チョイの間でやれるだろうと思っていたこの事業。
気が付いたら全員が全力投球していました。それだけの価値を感じ始めていました。県陵を卒業して本当に良かったと感じていました。



「母校愛のリレー」

我々にもう一度 青春 を感じさせてくれました。
我々にもう一度 友 を感じさせてくれました。
我々にもう一度 煮えたぎる血潮 を感じさせてくれました。

県陵22期 万歳 と感じさせてくれました。